

Shintatsu × SDGs

信達福祉社会SDGs宣言

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

社会福祉法人信達福祉社会では、17のゴールを意識し、持続可能な社会と地域共生社会の実現をめざして、SDGsの価値観を活かした事業運営に取り組んでまいります。



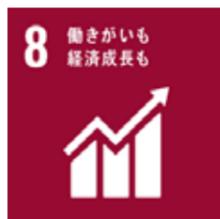
信達福祉社会にとって代表的なSDGs 4つの目標



■地域社会への貢献
地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等と連携し、経済的に困窮する方々を支援するために、無料又は低額な料金で福祉サービスを提供しています。



■信達福祉社会生涯研修制度
職員が自らが気づき、学び、成長できる場としての職場づくりと、プリセプター制度、内部研修の実施、外部研修への派遣のほか、職員の資格取得を支援しています。



■多様な人材の活躍
高齢者、障がい者、外国人などの雇用などすべての人々が活躍できる職場づくりと、ICTの導入や介護ロボットの導入など、働きがいがあり未来につながる職場環境の整備をおこなっています。



■「認知症カフェ」の実施
認知症をもつ家族や地域住民を対象とした「認知症カフェ」や地域の環境美化活動など、「地域における公益的な取組」を意識的にすすめています。



■利用者の命と尊厳を守る
日本でも6人に1人が「相対的貧困」状態であるといわれます。貧困問題を身近なものとしてとらえて、全ての人々の命と尊厳を守ります。



■非常食や水の備蓄
災害対策として非常食や水を備蓄し、1週間程度の食事提供ができる態勢を整えています。また、管理栄養士による献立作成のほか利用者の栄養管理マネジメントをおこなっています。



■女性の活躍推進
女性活躍の取り組みを評価する「えるぼし認定」の最高ランクを取得しました(2021年6月)。また、育児休業、子の看護休暇、不妊治療の支援等、子育て環境の整備に取り組んでいます。



■水を大切に
生命の源泉である水を大切に使用し、安全安心な生活環境を提供します。また、トイレ衛生の維持に努めます。



■省エネ設備への更新
LED照明の採用や省エネ設備への更新、空調温度の最適化をおこない、CO2削減に取り組んでいます。



■持続可能な産業化の推進
福祉の仕事の魅力発信に向けた取組みとして、ホームページへの若手職員インタビューなどを掲載し、福祉の職場のイメージアップを図っています。



■誰もが働きやすい職場づくり
男女の違いを理解し認め合い、誰もが働きやすい職場づくりに努めます。また、世界に広がる貧困や差別、格差の解消に理解を深めます。



■計画的な改修と経費節約
計画的な建物改修をすすめるとともに、電気、ガス、水道等の節約、古紙リサイクルのほか、ペーパーレス化、デジタル化の推進、廃棄物の適正処理をおこなっています。



■福祉避難所の運営
温暖化など気候変動による影響に対応し、災害発生時は福祉避難所を設置し、要援護者の支援をおこないます。また、災害時でも事業継続ができる対策を講じています。



■魚と海産物を大切に
豊かな海洋資源の維持を意識し、生活排水の浄化に努め、魚と海産物を大切に、安全、安心な海環境保全の理解を深めます。



■生態系の保護
持続可能な土地利用の推進及び里山を大切に、近年多発する土壌災害から利用者の生命と財産を守ります。



■ハラスメントの防止
身体的虐待、心理的虐待、介護放棄等の撲滅のほか、あらゆるハラスメントを防ぐとともに個人情報を守ります。



■安心できる地域づくり
地域住民、各種団体、行政等と手を取り合い、地域の福祉ニーズを掘り起こし、いつまでも安心して住み続けることができる地域づくりをすすめます。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。